

1979年、画期的な小径車マイクロハリが発表されました。  
現代のミニペロの礎でもあり、現在も愛用され語り継がれています。  
マイクロハリーのヘリテージを引き継ぎ、大幅に進化して、現代に蘇ります。

# Micro Swallow

¥92,400(本体価格) ¥84,000



**スペック**

フレームカラー	MCブルー、MCレッド
フレームサイズ	420mm
フレーム	オールクロモリ STDサイズ D.B. TiG溶接フレーム
フォーク	クロモリ ユニブレード 20mmオフセット 1"JIS スレッド
ヘッドセット	CH-907JN 1"JIS マイクロアジャスト カートリッジベアリング 10mmスベアーx2枚
BBセット	FPD FF-6902 68-110mm シールドベアリング ユニッ BB
ハンドルバー	ZOOM Touring Classics DR6-AL123B マース型 380mm
ハンドルステム	PROMAX RQ-412 -1" クイルシステム 105mm x 22.2 x 180mm
バーテープ	VELO コットンバーテープ
シフトレバー	SHIMANO SL-R400 8段 グダウン(トップ)チューブシフター
リヤディレクター	SHIMANO ALTUS RD-M310 スマートケージ
チェーンホイール	PROWHEEL SOLID-252PP-3F 52T ダブルギヤガード x165mm
カセットギヤ	SHIMANO CS-HG31-8 11-13-15-18-21-24-28-32T
チェーン	KMC ZS.3
ペダル	FPD FF-971 アルミボディ/アルミケージ
ブレーキ	TEKTRO 992A カンチブレーキ
ブレーキレバー	TEKTRO RL-340
ハブ	NOVATEC A361S/BT/F3621S/BT 28H 100x135 QR216 スクエア
スポーク	14G ステンレス
リム	WEINMANN AS26FL 16x1.75 305-20.5C 28H
タイヤ	CST C1959 16x1.50 E/V
サドル	SELLE ROYAL SHORT-NOZE 2060HRN
シートポスト	ZOOM SP-C207 φ27.2x350
シートバンド	JD_JD-095A 内径φ29.8
フェンダー	SUNNYYWHEEL SVA-813 ポリカーボネート55mm アルミポリッシュサンディッチ ステンレスアジャスタブルステー
その他	前後リフレクター、前後ホイールリフレクター、ベル
重量	10.0kg(ペダル込)



MC16上 / マイクロハリー / MC-HR16 / ジオメトリ比較	ペダル/クランク	シートポスト	ヘッドセット	BBセット	E/F	フレーム	G/L/ヘッド管	H/W/ヘッド管	I/C/ヘッド管	K/S/ヘッド管	L/W/ヘッド管	U/D/ヘッド管	V/B/ヘッド管	W/T/ヘッド管	X/Z/ヘッド管	Y/A/ヘッド管	速度乗車可能身長範囲														
MC16 420mm	420	270	480	←	500	345	836	36	20	-60	68	135	36	74.0	71.0	632	742	967	785	845	1230	332	478								
MC-HR16 400mm	400	200	450	←	445	305	740	20	-60	-68	120	34	74.5	69.0	606	685	870	680	800	1130	330	478		140	145	150	155	160	165	170	175

\*\*MC-HR16は実測ではないためサドル・ハンドル・前輪軸高は上掲の寸法とは異なります

# Pursuite for Riding performance

マイクロハリーMC-HR16は、後述のように、サイクリングにも使用できる設計でしたが、コンパクト性の追求から、走行性能への若干の犠牲が生じたことは否めません。左下のMC16/MC-HR16ジオメトリ比較に示すように、MC-HR16は、超ショートホイールベースに特化し、サドル〜ハンドル間を確保するための特異なヘッドアングル/シートアングル構成と短いリヤセンターのために、リヤヘビー気味になりました。またサドル〜ハンドル間の寸法も不足気味とも言えます。一方、74度の立ったヘッドアングルと、20mmの短いフォークオフセットは、16"ホイールと相性の良いハンドリング特性も有していました。マイクロハリーキャラクターをリスペクトしながらも、ライディングポジションと前後の加重配分を見つめなおし、バランスが整ったジオメトリを実現させました。

また、右下GD表に示すように、マイクロハリーMC-HR16に比較してMC16では幅広いギヤレンジを獲得。ツーリングにも対応します。



# Pursuite for Take-a-Part 輪行

ハンドル、サドルを下げるだけで、フルサイズ700Cロードの前輪軸行よりもコンパクトに輪行袋に収納が可能です。収納前にフォークをストラップ等で固定し、輪行袋外側からサドル後端を持ち上げることで、前輪の回転により、楽に移動が可能です。(駅構内・車内では輪行袋下側のストラップを締めて完全収納としてください。)もちろん、ハンドル、サドル・シートポストを外すことで、さらにコンパクトに収納できます。



# History of Micro Hurry 12/14/16

1970年代末、5万円クラス(¥49,800)のハリーロード、またブリヂストン・ロードマン等により、普及価格帯でのドロップハンドルスポーツ車が普遍化し、それまで思われていたドロップハンドルへの障壁とアレルギーが非常に少なくなりました。

これを背景にして、アラヤではドロップハンドルを装備した新たなジャンルへ挑戦するプロジェクトチームが発足。ユニークな小径スポーツ車マイクロハリーが提案されました。既に愛好家の中では、非常に凝った16"ミニペロがフルオーダーされていたこともありましたが、アプローチは全く異なっていたのです。サイクリングにも併せる16"、ホビー志向を高め販売店ディスプレイ効果も考慮した12"、そしてアップハンドルが装備され、最も一般的に使ってほしい14"。それぞれに個性を有した3ホイールサイズバリエーションで展開しました。専用のハンドバッグとサポーターがオプションで用意されたのもサイクリング用途を考えたことによります。12"も含めて、ツーリングデモライドテスト等を繰り返して販売に至りました。その後のマディアフォックスの発売もあり、生産販売期間には2~3年でしたが、40年以上を経過した現在も熱心なマニアの方々で愛用され、語り継がれています。

